

まちの話題



昼も夜も美しい 今川河川敷 ～地域で守る まちのシンボル 桜並木～

3月31日、今川河川敷で「第6回桜スマイルフェスタ」が開催されました。昨年よりも桜の開花が遅れ心配していましたが、開催前の数日間であっという間に咲き、当日を迎えることができました。

地域の魅力であるこの桜並木。枝は伸びるし、きれいに咲かせるにも手入れが必要です。花見シーズンを前に、毎年剪定作業を続けてきた、まちづくり勉強会「木曜クラブ」が高齢化に伴い解散したことで、今年は、日産自動車九州のボランティアグループ「秋桜会」が木曜クラブ

住民異動届 多言語でガイドします



市総合窓口課では外国人住民の方向けに、住民異動届を記入する際の補足資料として、翻訳ガイドを作成しました。このガイドは「日本語教室 in ゆくはし KIZUNA」の皆さんの協力を得て翻訳したもので、英語・中国語・ベトナム語の3種類。5月7日より市庁舎1階の窓口を設置されます。



和太鼓の祭典 地域ゆかりの新曲も初披露

県内外の和太鼓演奏団体が共演する「どんどこ音楽祭」が4月14日、コスメイトで実施されました。太鼓で地域を盛り上げようと平成9年にスタートしたもので、今回は宮崎市などを含む10団体が出演。豪快なばちさばきを披露しました。このうち、行橋の飛龍八幡太鼓奉友会は地元で伝わるお囃子をアレンジした「正調小笠原祇園囃子」を初演奏。様々な太鼓と鉦や笛が組み合わせられたオリジナル曲に、客席からひと際大きな拍手がおくられました。



まちの話題 ニュース & トピックス

あなたのまわりの身近な話題を待っています。広報係までご連絡ください。(TEL 25・9688)

豊かな自然に囲まれて 椿市の春を満喫

青空の下に咲き誇る菜の花畑。しばらく進むと、おいしいそうな香りが漂ってきます。季節の花を楽しみながら、地域の特産品が味わえる「菜の花まつり」が4月7日、椿市コミュニティセンター広場で開催されました。下崎・長尾・鳥井原営農組合が主催する春の恒例行事は、今年が15回目です。地元で収穫された菜種の油を使ってコロッケや天ぷらを揚げると、たちまち長い行列が。会場では子ども達の風船飛ばしも行われ、家族連れなどで賑わいました。



製造業に熱い視線 若い力で飛躍の時代へ

4月4日、西日本工業大学で学内合同企業説明会が実施されました。行橋市内に製造拠点のある企業への就職によって産業の振興を図ろうというもので、市と大学との連携協定の一環です。2回目の今年は前回を上回る9社が参加。教室に資料やパネルを展示して、業務の内容や職場環境などについて説明を行いました。地域の基幹産業ともいえる自動車関連の企業が多く、会場を訪れた学生達は企業担当者の話を熱心に聞き取っていました。



読書の入り口に！子ども達に届いた大賞作



第34回日産童話と絵本のグランプリの大賞作が、日産自動車九州より市内の幼稚園・保育園などに寄贈されました。優れた作品を子ども達に楽しんでもらおうというもので、今回贈られたのは、家族愛をユーモラスに描いた「ふうふうママ」(小路智子さん作)と、きめの細かい絵が印象的な「こくまのアーリーとあかいぼうし」(わだあいさん作)。4月4日には同社の担当者が笹山教育長を訪問し、「読書に親しめる内容です」と作品を手渡しました。

出会いの春 希望も膨らむ学校生活



「はいー」新入生の明るい声が体育館に響きます。4月11日、市内の11小学校で入学式が実施され、657人が小学生の仲間入りをしました。このうち、稗田小学校には27人の1年生が入学。担任の先生から名前を呼ばれると、元氣よく返事をしていました。式の前には行橋交通安全協会が通学用の黄色い帽子を贈呈。交通ルールを守るよう呼びかけました。また、前日の10日には6中学校で入学式が行われ、582人が学校生活をスタートさせました。